

令和 7 年度第 1 回	
函館市廃棄物減量等推進審議会会議録	
開催日時	令和 7 年 7 月 2 3 日（水） 13 時 30 分～14 時 30 分
開催場所	函館市役所 8 階大会議室
議 案	1 会長，副会長の選出について〔公開〕 2 第 3 次函館市一般廃棄物処理基本計画のまとめについて〔公開〕 3 第 4 次函館市一般廃棄物処理基本計画について〔公開〕 4 その他〔公開〕
出席委員	青山森一委員， 一戸裕之委員， 柿崎陽子委員， 亀谷禎子委員， 川口勝也委員， 川口健治委員， 平沢秀之委員， 堀抜まり子委員， 松崎静江委員， 宮崎良一委員， 宮下勝弘委員， 山田まゆ委員 （計 1 2 名）
欠席委員	杉本実希委員， 折口敦子委員， 原満好委員 （計 3 名）
事務局 出席者 職・氏名	田中修一 環境部長 井上徹也 環境部次長 畠山裕二 環境推進課長 高田直樹 新廃棄物処理システム担当課長 亀田聖一 環境推進課主査 高橋一也 環境推進課主査 佐藤弘康 環境推進課主査 廣島菜菜子 環境推進課主査 田中彩香 環境推進課主査
他 出席者	報道機関 1 名

亀田主査	ただいまから、令和7年度第1回函館市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。 私は、本日の進行役を務めます環境部環境推進課の亀田と申します。よろしくお願いします。 始めに、本日の審議会は委員15名中、12名の出席がございますので、函館市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項の規定により、審議会として成立しておりますことをご報告申し上げます。 なお、本審議会の議事録につきましては、後日、市のホームページで公開いたしますので、ご了承願います。 次に、本審議会の開催にあたりまして、環境部長の田中より、ご挨拶を申し上げます。
田中部長	(挨拶)
亀田主査	本日は、本審議会第17期の委員改選後、初めての審議会でございますので、事務局から委員の皆様をご紹介させていただきます。 (各委員紹介) 続きまして、事務局をご紹介いたします。 (事務局職員紹介) 次に、本日の資料の確認をさせていただきます。 先日郵送させていただいた資料ですが、審議会次第、審議会配付資料および審議会条例となっております。不足している資料はございませんでしょうか。
委員	(不足なし)
亀田主査	それでは、議事に入りたいと存じます。 議題(1)「会長、副会長の選出について」でございますが、事務局から説明申し上げます。
畠山課長	本日は、今期初めての審議会となります。皆様にはご多忙のところ、委員をお引き受けいただき、ありがとうございます。 委員改選後、初めての審議会ということで、現状、会長および副会長が不在ですので、会長、副会長が選出されるまでの間、事務局で議事を進めさせていただきます。 それでは、議題(1)「会長、副会長の選出について」ですが、会長、副会長につきましては、審議会条例第5条第2項の規定により委員の互選により定めることとなっておりますが、選出方法についていかがいたしましょうか。

宮下委員	事務局で腹案をお持ちかと思しますので、事務局案をお願いします。
畠山課長	ただいま、事務局案とのご発言がありましたが、よろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
畠山課長	それでは事務局の案をお諮りします。 会長には、函館工業高等専門学校の教授であり、社会基盤工学がご専門の平沢委員に、また、副会長につきましては、これまでも、当審議会の委員として務めていただいております、函館再生資源事業協同組合理事長の宮崎委員に、お願いしたいと考えております。 よろしければ、皆様の拍手をもってご承認いただきたいと思います。いかがでしょうか。
委員	(拍 手)
畠山課長	ありがとうございます。ただいまの拍手をもって、ご承認いただきましたので、会長には平沢委員、副会長には宮崎委員が選出されました。
亀田主査	それでは、平沢委員、宮崎委員にはお手数ですが正面の会長、副会長席にご移動いただき、議事進行をお願いいたします。
平沢会長	ただいま会長に選出いただきました平沢でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
宮崎副会長	副会長に選出いただきました宮崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
平沢会長	本日の審議会におきましては、皆様からのご意見をいただき、有意義な会になるよう、スムーズに議事を進行してまいりたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。 それでは、さっそく議事に入りたいと思います。 議題（２）「第３次函館市一般廃棄物処理基本計画のまとめについて」事務局から説明をお願いします。
畠山課長	「第３次函館市一般廃棄物処理基本計画のまとめについて」説明
平沢会長	ただいまの説明について、ご質問等がありますか。 それでは、私から質問します。２１ページの生活排水処理率は目標値をクリアした一方、汲み取りし尿の処理量では、若干目標値を上回り、目標をクリアできなかったとのことですが、この二つは連動するのではないかと考えています。 もしも下水道整備がもっと進めば、汲み取りし尿量は減ると思うのですが、生活排水処理率がもう少し高ければ、汲み取りし尿量も目標値をクリアできたという理解でよいですか。

畠山課長	水洗化が進むと汲み取りし尿量が減るので、そのような形にはなりませんが、生活排水処理率が上がっているのは、市全体の人口が、水洗化人口よりも減っていることも要因であるため、そのバランスのなかで、生活排水処理率の上昇と汲み取りし尿量の減少はなかなかイコールにならないのが現状ですが、基本的には会長のおっしゃったようなになると思います。
平沢会長	わかりました。 ほかにありませんか。なければ、議題（３）「函館市第４次一般廃棄物処理基本計画について」事務局から説明をお願いします。
畠山課長	「第４次函館市一般廃棄物処理基本計画について」説明
平沢会長	ただいまの説明について、ご質問等がありますか。 第４次計画〔概要版〕８ページ「基本方針２ ごみの再資源化（リサイクル）の推進」には、リサイクル率を高めるために必要な事項がいっぱい書かれていますが、再資源化、リサイクル化に持っていくためには、いかに分別収集するか、混ざった状態のものをいかにうまく分別できるかが非常に大事と思っています。分別の仕方などは詳しく書かれていませんが、収集段階で分別したり、集められたものをうまく分別するような方策は盛り込めないでしょうか。科学技術が進んでそのようなことを機械的にできるような技術があるのか、そのようなことを調査するなど、何か分別の方向性を盛り込めないでしょうか。
畠山課長	今おっしゃられたことは、市民側に分別を求めるのではなく、集めたあと、市の方でうまく分別できないかという意見だと思いますが、今の設備のなかで、すぐにはできない部分がありますが、調査、研究していくことは必要なことと思っています。 １１ページ「新たな廃棄物処理施設の整備に向けた検討」において、処理のなかでの分別や集めたごみをどのように処理しリサイクルしていくかなどについて、時間はかかりますが検討していきたいと考えています。そのなかで、すぐできるようなことが見つかった場合には、そのようなことも考えていきたいと思っています。
平沢会長	ありがとうございます。ほかにご意見等ありますか。
一戸委員	今のことに関連しますが、第３次計画でもリサイクル率を高くすることを掲げて目標値を２０％とし、第４次計画では１６．８％としていますが、函館市にとって、リサイクル率を上げることは非常に難しいことなのではないでしょうか。他都市との比較では、北海道平均は非常に高く、全国平均も高い。函館市だけが低い要因は何か、わかる範囲で教えていただ

	ければ、対策の一つになるのではと思います。
畠山課長	明確な要因は断言できませんが、函館市は路線収集方式で、各家の前からごみを収集しており、全国的にも珍しいです。多くはステーション方式で、町会ごとなどで集めて、そこから収集していく方法です。路線収集の場合、分別を増やすと収集回数を増やさなければならず、お金をかければできると思いますが、コストを比較すると難しい状況です。 また、自治体のなかには処理施設で破砕機を導入しているところもあり、たとえば、プラスチックと金属が混合しているものなどは、そのままリサイクルできませんが、破砕機にかけてプラスチックと金属に分けると、どちらもリサイクルできるようになります。函館市は現状、そのような設備はなく、そのようなことが函館市のリサイクル率がほかと比べて低い要因ではないかと考えています。
一戸委員	そのことについても、新たな処理施設の検討のなかでやっていくのですか。
畠山課長	収集体制を変えるのは結果的に難しいかもしれませんが、処理施設についてもどうするのが一番よいかを検討していかなければと思っています。
堀抜委員	函館市近隣の鹿部町、七飯町、北斗市の比較はご存じですか。他都市との原単位の比較をみて驚きました。がっかりしました。近隣の市町の現状をどう踏まえているのでしょうか。 また、函館市は燃えるごみ、燃えないごみなどの分類ですが、北斗市、七飯町、鹿部町は、およそ7種類以上のごみ袋があります。生ごみだけの袋があるところもあります。その差はすごいと思います。そこが、函館市が他都市よりごみの排出が多くなっている理由かと思いました。
畠山課長	近隣市町のリサイクル率等については手元に資料がないので、あとでお知らせすることによってよろしいでしょうか。
堀抜委員	私たちは時間を割いて来ている以上、そういうところも含めて勉強しなければならない。努力しなければならない、どうしたら一人ひとりがごみを減らせるかを。なので、是非、次回でもよいのをお願いします。
平沢会長	ほかにありませんか。なければ、議題（４）「その他」について事務局から何かありますか。
高田課長	あらためて、新廃棄物処理システム担当課長の高田です。前回の審議会でもお知らせし、先ほど、平沢会長や一戸委員とのやり取りにもありましたが、今年度からごみ処理システムのあり方を検討するとともに、先ほどの破砕施設を含めた中間処理施設や最終処分場の整備に向けた基本構想の策定に着手することとしたところです。検討や基本構想の策

	定については、新たに設置した検討委員会で協議検討しながら進めていくこととしていますが、本審議会においても、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。
亀田主査	事務局からは以上です。
平沢会長	予定していた議題は以上でございますが、そのほかに、皆様からご意見等はございますでしょうか。
委員	(意見等なし)
平沢会長	それでは、以上で令和7年度第1回函館市廃棄物減量等推進審議会を終了したいと思います。 皆様のご協力により、審議を進めることができました。 本日はどうもありがとうございました。
亀田主査	以上で本日の審議会を閉会いたします。 委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。